

広報 南丹

こうほう なんたん

Nantan City Public Relations Magazine

2023

2 - 3

Vol.117

特集① 農業者座談会

特集② HOTな南丹市社協さんをご紹介します

表紙：1月8日に開催した「南丹市三十歳のつどい」で撮影した1枚です。



市公式Facebook
市内での出来事や
市に関する情報を
紹介します



市公式LINE
イベント情報や防
災・気象情報をお
届けします



市公式Instagram
人や風景写真など
を通して魅力を発
信します



NANTANGRAM

出荷先の課題は

和田 J Aで営農指導していて、後継者不足や高齢化などに課題を感じていました。もともと農業を自分でやりたいという思いは持っていたので、今は専業農家としてやっています。野菜は、農協出荷したり、直売所に出しています。野菜は、売上が厳しい面はあります。市場は値がいいときはいいですが、下がると採算割れを起こすので、安定した販売先を確保していきたいです。

藤原 まだ始めたばかりなので去年今年はやれることをやっている状態です。基本、無農薬でやっています。

農業と併行して人が集まれる場所を作りたいという思いがあったので、移住したい人や



むらかみ しんご
村上 真吾さん

8割が米作。アスパラガスも栽培している。10%以上耕作に取り組む。

農業者

座談会

12月9日に農業者座談会を開催しました。

高齢化などの影響から、先の見通しが厳しい南丹市の農業において、現状と、この先の展望を南丹市内の農業者と西村市長で意見交換を行いました。

市長 米は価格がさがったりすると大変でしょう？

村上 ここでやめるわけにはいかないので、収量で勝負していきたいと思っています。専業としてやり始めたところに補助金などの支援があれば軌道に乗せ易かったのではと思うことがあります。でも、なかなか対象になる補助金もないので、「なにくそ」という気持ちでやっています。

米のほかに、アスパラガスを栽培していて、妻に収穫してもらって、私が夜に出荷作業をしています。

市長 村上さんは、根性ありますよね。睡眠不足になりませんか。

わだ たかし
和田 貴士さん

なす、黒大豆ハウストマト、春菊などを栽培。安定した販売先の確保に取り組む。

コーディネーター

なかい じゅんいち
中井 順市さん

京都府立高等学校農業教育後援会会長
京都府農業会議新規就農支援員ほか

田舎を求める人の居場所になれるように、田植えイベントなどもしています。

中井 販売の拡大には、ファンを獲得するのが大切だと思います。独自の方法で販売路線を確保しているのが興味深いですね。

藤原 そうですね。付加価値をつける取り組みをしています。

村上 実家が2畝ほどで農業をやっていたので、35歳までは兼業でやっていました。預かっている農地が10畝近くになったので、会社をやめて、専業になりました。来年は20畝近くになる見込みです。どうしても飛び地になってしまうので効率が悪い面もあります。



みさき まさこ
三崎 正子さん

水稲、黒大豆、白大豆、万願寺とうがらしなどを栽培。季節の野菜や新しい品種の野菜の栽培に取り組む。

今回は「ブランド戦略」をテーマとし、それぞれの現状や今後の見通しなどをお話いただき、今後南丹市の農業を維持・発展させていくためのヒントが見つかるような有意義な場となりました。



村上 それぐらいしないと回りません。

三崎 主人は大阪に勤めていたが、農業に興味をもったので美山に移ってきました。18年前からやっていますが、周りの農家の数は、半分くらいになってしまいました。水稲と豆、ビニールハウスで新しい品種の野菜を作っています。季節の野菜を販売することで、米も買ってもらえるのでうれしいです。

市長 美山の「大内かぶら」とかどうですか。

三崎 加工とかが難しいので、なかなか取り組めませんね。



ふじわら ようこ
藤原 よう子さん

生姜、ズッキーニ、ミニトマト、米などを栽培。有機栽培に取り組む。農業イベントを開催し都市部から来てもらえる活動をしている。



獣害

村上 作付け面積の2割くらいは被害があります。特に、市町の境界あたりが手薄になり被害に遭いやすいので、隣接の市町と協力して対応いただけたらと思います。

市長 猿とかは丹波篠山市と連携しながらやっていますし、京都府と福井県が調整しているのもあります。京都府下の市町の連携も検討していきたいと思っています。

有機農法

藤原 私は、小規模、有機農法でやっています。近所にあげたりしているので、有機野菜を目当てに移住者が増えたらうれしいと思います。そうすれば、放棄地がなくなり、景観がよくなったりしないか考えています。

市長 小規模になると、生業が成り立つか心配ですね。

藤原 半農半Xとかで、みんなが専業を目指さなくてもいいと思います。小さい農業を増やす方法を見つ

販売ができるので、魅力ですよ。条件の悪いところでは、山椒がいいのではないかと思っています。

和田 山椒は家で作っています。枯れてきているので、近所ではゆずに取り組んでいる人もいます。いいのではないかと思っています。

市長 ゆずをほしがっている企業や白小豆を買い入れている企業もあるので、企業ニーズに合った作物を作

村上 見てのとおり一匹オオカミ。

藤原 熊本は、何にでも、くまモンがついてくる。そういうものを南丹市でもできればいいと思います。

中井 そうですね。南丹の〇〇、なんたんの□□とかが定着すれば、ブランド化が進むと思います。

三崎 米の新品種の開発がいいのは。京野菜があるので、南丹の〇〇というのがあればいい。

藤原 丹波の黒豆は、関東では有名。そのほかは、京都とついた方がブランド。

市長 今「にゃんたん市」を売りに出しています。冗談みたいですが、本気で取り組んでいるんですよ。くまモンが受けたからにゃんたんもいけるはず。何よりも、みんなでアイデアを出して取り組んでいくことが大切だと思っています。

藤原 有機農業をしていて、南丹市で有機農業をしようと思うとわからないことが多い。

どこにどんな人がいるのか、研修を受け入れてくれるかどうかとか、



けられたらと思います。

和田 単価が上がるオーガニックは、確かに魅力的です。有機農法などの勉強もしていきたいとは思っています。

市長 大規模なところは、有機に対応するのは難しいでしょうね。

村上 一部有機でやるのは、効率が悪くなるので難しいですね。

中井 国も有機農法をすすめています。全く外すのではなく、有機を念頭におきながら、進めていくのがいいかと思います。

ブランド化

市長 南丹のエリアでは、多品種を小ロットで売っていることが多い。対局にあるのは、淡路島のたまねぎや長野のレタスなどの都市近郊農業。ただ、そこを指すと、産地間競争に負けてしまう。特徴のある野菜を仲間を募りながら、何人かで供給していくシステムを作ればニーズがでてくるのではと思っています。多品種を作っていれば、パックでの



ればと思っています。

中井 そうですね。ブランド化するには、やはり仲間やネットワークが必要だと思いますね。みなさんは農業者同士のネットワークを持っていますか。

和田 以前は農業者が集まって話をすることはありましたが、最近はコロナのこともあってできていません。

分かるものがあれば良いなあと思っています。新規の人を受け入れていくには、そういった情報を提供いただけるとうれしい。移住と有機農業をからめていただけるとうれしい。

三崎 獣害がなんとかならないかと思っています。集落を囲っていただいています。どうしても、入ってきてしまう。

和田 にゃんたん市プロジェクトにからめて様々なことに取り組んでいくのは、面白いと思いました。

市長 みなさん個性と考え方をもってされていて、地道に販路を拡大しながら、仲間を広げていくことと、特徴的なブランドをつくりながら、それを農作物に乗せていくことが大事だと思います。

中井 農業者と農林行政担当者が連携しながら、消費者目線を意識して取り組んでいくことも大切であると思います。消費者から直接話を聞いてみるのもいいかもしれません。

今日は、皆さんからブランド戦略についてお話いただきましたが、今後、農業に取り組んでいただきたいと思っています。本日はありがとうございました。

HOT な

南丹市社協さんをご紹介

皆さん、最近色々なところで「社協」を目にするな～と思われませんか？実は南丹市社協の職員さんが知恵を絞って、沢山の福祉に関する取り組みを考えられています。

そんな社協さんのアイデア会議に突撃取材してきました！

社協さんでは
こんな取り組みを
されています

社会福祉協議会って？

略して「社協」。地域福祉の推進を目的とした民間組織です。社会福祉法（第109条）に基づき市区町村等に設置されています。

誰もが安心して生活することができる「ふくしのまち」の実現のため、地域に暮らす皆さまのほか、民生児童委員・ふれあい委員、福祉・保健・医療・教育などの関係機関と共に、様々な地域福祉活動を行っているのが「社協」さんです。

みんなで一歩プロジェクト(2020年)

みんなで一歩
プロジェクト



元気に春を迎えよう

外出がなかなかできないコロナ禍でも市内を観光する気分で健康づくりができる「すごろく」を開発されました。ちなみに3回目となる今年は美山バージョン。ゴール達成者限定プレゼントは、市内の多くの企業・団体が賛同し、社会貢献活動として協力されているそうです。

社会福祉法人 南丹市社会福祉協議会



南丹市社協マスコット
ニャンたん

本所

〒629-0301

南丹市日吉町保野田垣ノ内11番地

TEL：0771-72-3220 FAX：0771-72-3222

園部事務所

〒622-0014

南丹市園部町上本町南2番地22

TEL：0771-62-4125

FAX：0771-63-5606

八木事務所

〒629-0134

南丹市八木町西田山崎17番地

TEL：0771-42-5480

FAX：0771-42-4412

日吉事務所

〒629-0301

南丹市日吉町保野田垣ノ内6番地4

TEL：0771-72-0947

FAX：0771-72-0732

美山事務所

〒601-0722

南丹市美山町安掛下8番地

TEL：0771-75-0020

FAX：0771-75-0829

来年度のわくわく企画を量産中!!

ある日の南丹市社会福祉協議会通称「社協さん」の職員会議では、来年度の事業計画についてアイデアを出しておられました。
地域福祉の最前線で働く社協の職員さんから、どんどん出てくる「やりたいこと」。
来年度の社協さんも目が離せません!



みんなでなんたんグランプリ(2022年)



食からつながるプロジェクト(2021年)



社協が応援している「ふれあい・いきいきサロン」は、地域の皆さんの居場所、そして得意を活かせる活動場所。地域でお互いにつながりあい、見守り合いをされています。「一堂に会するサロン交流会はまだ難しいかな」「各サロンでゲームをして順位を競って見たら交流になるかも」「それいいね!楽しんでもらえるのでは!」と盛り上がり決まった企画がこの「みんぐら」だそうです。

社協には地域の方から「よかったら誰かのために…」とお米などが届くそうです。受け取った食料は、生活にお困りの方への食糧支援のほか、フードロス防止のため、何かあったときには社協を思い出し気軽に相談してもらえるようにと願い、つながり作りに活用されています。

社協×○○取材しました！

南丹市社協の窓口には様々な相談が寄せられます。今回は一部を紹介します。

さらなる活動



「もっと多くの人をハッピーにしたい！」
ボランティアコーディネーターの伴走は続く…

※ほほえみの会…着付けボランティア
※ボラ連…ボランティア連絡協議会

他ボランティアとの交流・体験会



「着付けボランティアさんとコラボしてみませんか？」
ほほえみの会*と一緒に体験会を実施。着付けとメイクアップのコラボにより、更に魅力が高まることを実感。

活動相談



ボランティア活動を始めたいという前田さんの熱い想いを受け止め、社協のボランティアコーディネーターが提案したのは…

ご相談

メイクやパーソナルカラーの力で自分の魅力に気づいてほしい。そんなお手伝いをするボランティア活動がしたい。

社協×ボランティア



園部町

メイクボランティア 前田恵梨さん

社協の職員さんが親身になってくださり、気軽に何でも相談することができました。お陰様で、ボランティア活動をスムーズに実現することができました。

ボランティアコーディネーター



ボランティアの定義は「仕事や学業とは別に、自分の意思で地域のために提供する活動」です。あなたの知識やプライベートな時間を地域活動に使うことはできそうですか？まずは、暮らしの中で少し「地域」を意識して「自分に何ができるかな」と考えることから始めていただけたら嬉しいです。ご相談はお気軽に！

#アワアワプロジェクト #four hours for our community

見守り声かけ訓練 (まちづくり)



うちの地域でもやりたいと思われた皆さん
地域包括支援センターにご相談ください

「みんなが仲良く普段から声かけあうことが大切な」
声かけあうことが大切から
区長、消防団も一緒に訓練を実施。

打ち合わせ (ネットワークの構築)



「みんなできるといいね」
道で出会ったときに上手に声かけできるかな」
「みんなできるといいよか」
駐在所・認知症地域支援推進員も会議に加わり何度も打ち合わせ。

地域ケア個別会議 (個別課題の検討)



「みんなできるといいよか」
「道で出会ったときに上手に声かけできるかな」
「みんなできるといいね」
「地域の人みんなで二人を支えられたらいいね」
「道で出会ったときに上手に声かけできるかな」
「みんなできるといいよか」
認知症のあるご夫婦が住み慣れた地域で暮らし続けるために、相談を受けた地域包括支援センターの相談員が提案したのは

ご相談

担当地域の中に、心配な人がいるから相談に乗ってほしい。

社協×見守り活動



日吉町

民生児童委員 鍋田和夫さん

南丹地域包括支援センター 日吉事務所



2回の訓練を通して、地域の皆さんの対応力が向上していると感じました。また、日吉町内の駐在所やケアマネジャーの参加があったことで、困ったことを気軽に相談できる関係づくりにもつながりました。これからも、安心して暮らせる地域を一緒につくっていきたいと思います。

とことん応援 やりたいこと・やりたいひと

社協×地域活動

ご相談

地域でイベントをしようと思っているけど、社協って協力してもらえるの？

お悩み無用です！社協の事務所にお気軽に相談に行ってみてください！（もちろん・電話やメールでも）相談時のおススメワードはこの3つ！



ニャンたん区
区長さん



生活支援コーディネーター
(各町に1名ずつ配置)

02

「この日があるから来て」と言ってみる

社協職員は、地域に向いて色々な方と出会い、一緒に住みよい地域を作っていくというミッションがあります。ぜひ声をかけてください。

01

「一緒にやら入ん？」と言ってみる

社協職員にとってこんなに嬉しい言葉はありません。福祉と関係ないと思われる行事やイベントでも、工夫次第で福祉をプラスして地域の力を高められます。難しく考えず、気軽に声をかけてください。

03

「なんかないの？」と聞いてみる

(色々情報を持っているかも)

社協職員は、日々引き出しを増やす努力をしています。皆さんがどんなことを知りたいのか、何を必要とされているのか教えてください。

地域活動時に活用できる社協のアレコレ

公用車貸し出し

- 軽自動車
- ワゴン車



物品貸し出し

- レクリエーション物品
- テント・マイク
- チャイルドシート
- 車いす

出張相談

- 暮らしの相談
- 高齢者総合相談

各種勉強会

- 認知症サポーター養成講座
- 車いすや高齢者疑似体験
- 防災学習
- ボランティア入門講座

各種展示

- 段ボールベッド
- 非常用持ち出し袋
- 防災食
- 介護用品

詳しくは、南丹市社協のホームページ、またはこちらの二次元コードからご覧ください。



貸し出し物品一覧



ボランティア情報「ぼらん」



福祉教育プログラム集

ふくしミライ共創金で活動支援！

地域福祉のサポーター

南丹市社協で取り組む地域福祉活動は、地域の皆さまが協力されたふくしミライ共創金(社協会費)が活用されています。福祉のよるず相談所である社協が日々受ける相談は多種多様です。「誰もが安心して暮らし、誰かのために、今この瞬間、不安や心配を抱えている人を地域全体でどう支えられるかがポイントで、公的な事業の整備を待っている時間は無いんです！」というのが社協さんの言葉。社協では、コロナ禍でも「みんなで一歩健康すごろく」など新しい取り組みも生まれています。このように今必要な動きをフレキシブルに進めていくためには、「しくみ」とそれを動かす「人」と共に、「お力ネ」が必要なのです。今こそ、ふくしミライ共創金による地域福祉活動のサポートについて考えてみてはいかがでしょうか。

ふくしミライ共創金
詳しくはこちら

パンフレットを
ご覧いただけます↓



南丹市社会福祉協議会 総務課

0771(72)3220

私たちの

まちづくり

12月23日、南丹市議会議場で「市長と語ろう、私たちのまちづくり」を開催しました。

小学生は「南丹市の魅力・自慢について」、中学生は「移住したくなる魅力ある南丹市にするために」をテーマに、市立の小、中学校11校の代表が参加し、各学校で話し合った内容などを発表しました。発表では、学習用タブレット端末を活用しながら、南丹市の自然を生かした取組や、暮らす人びととのつながりを大切にしてより深めていく提案など、さまざまな意見を市長に提案しました。

提案を受けた市長は、これからの市政に活かすように市役所内で共有したい、まちを動かす一人として活躍してほしい、と答えました。

小学生テーマ

南丹市の魅力・自慢について

中学生テーマ

移住したくなる魅力ある南丹市にするために

南丹市では、各地域で季節に合わせたイベントが開催されている。私が住む八木町では、特に花火大会が自慢で、多くの人を楽しみにしているイベントである。そんな南丹市の魅力を発信するために、花火大会の規模を広げ、南丹市内各地で一斉に上げてはどうか。また、エコバッグやうちわなど、関連したグッズを作って販売し、「南丹市といえば」というような風物詩になる取組を提案する。



八木西小学校

吉見

6年 優那

自然豊かな土地でお米や採れたての野菜のおいしさを味わえるのは、南丹市ならではの魅力。朝市や収穫祭、レンタル農地などで地域の人とふれあい、農業と南丹市の良さを知ってもらおう。また、季節の移り変わりを感じるアスレチックや野営キャンプ場など体験施設を作ってはどうか。農業の経験豊富な高齢者のみなさんは南丹市の財産。人と人とのつながりが南丹市最大の魅力である。



殿田小学校

瀬戸

6年 悠雅

みんなが支え合う温かい街が南丹市の魅力だと思う。そこで「人とのつながりを大切にし、賑やかで自然豊かな街づくり」について提案する。南丹市にあるたくさんのお祭りは、街の人たちが協力し合い守られてきた。各地のお祭りを充実させてインターネットなどで紹介してはどうか。また、自然を守るためにゴミや環境について学習し、自分達にできることを考えたい。



八木東小学校

高屋

6年 美音

四季折々の風景と、イベントや祭りが南丹市の魅力。更にイベントを増やし、ツアーを組むことで観光客や移住者が増えると思う。また、子育てのしやすい街にするために、保育所を増やし、子育て支援を充実させることで子育て世代が増える。さらに、交通の便を良くし、宿泊施設を増やすことで観光客を増やしてはどうか。過疎化抑制により人口が増え、農業などの仕事が盛んになると考える。



美山小学校

西岡

6年 岳陽

学校では、草木染めやしめ縄作り、田植え稲刈り体験、地域の祭りなどを通じて地域の方と交流している。自然豊かで地域のつながりが深く、多くの伝統行事が受け継がれていることが南丹市の魅力。移住者を増やすために、豊かな自然環境や市内の人気の観光スポットを活用し、農業体験により人と自然に触れてもらってはどうか。地域の魅力を学び、発信していきたい。



胡麻郷小学校

伊藤

6年 翼



豊かな自然の中で育てられた新鮮でおいしい「南丹市の農作物」は、まさに南丹市の魅力。地元の食材を使ってレシピを考えた経験から、その魅力を多くの人に感じてもらいたい。地域にあるスーパーなどに市内で採れた野菜コーナーの設置や、地産地消をするとポイントが貯まり、地元の野菜が安く買えるカードの発行を提案する。南丹市内での地産地消、自分にできる一歩を大切にしたい。



園部第一小学校 6年
田中 幸太

南丹市には、るり渓や園部城などの名所があり、豊かな自然の中で育てられた食材はとても美味しい。しかし、これら南丹市の魅力が、十分には知られていない。そこで、「オンライン観光」という方法で多くの人に魅力を発信し、観光や移住につなげてはどうか。具体的には、市民から写真や動画を募集し、それを編集した動画を観光マップ上で見られるようにすることを提案する。



園部小学校 6年
佐々谷 美羽

南丹市の魅力である人々の「つながり」を深めることで、子ども、大人、高齢者がそれぞれの強みを活かして活躍し、助け合い、安心して過ごせるまちになると考える。①市内の小・中・高校生による「南丹スクールフェス」を開催してはどうか。②南丹市の魅力をSNSで発信する「南丹キッズバズらせ隊」を設立してはどうか。「移住してもらえる街」、「住み続けてもらえる街」を提案する。



殿田中学校 2年
山口 采乃

子育て政策の充実を提案する。①保育園を増やし待機児童をなくすとともに、SNSでの情報発信など、子育てしながら働きやすい環境を整備する。②安全な公園や街灯を設置し、活気的な街をつくる。③空き家を自習スペースや子育て支援イベントを行うテナントとして活用する。④部活動での水分補給のため、学校にウォーターサーバーを設置してほしい。南丹市の素晴らしい取り組みを市外の人にも知ってもらい街を盛り上げたい。



八木中学校 2年
松尾 光優香

南丹市には、豊かな自然、多くの歴史、そして子育て支援がある。子育て支援を充実させるため、商品券の配付だけでなく、米などの食料品やおむつなど子育て支援品の定期支給をしてはどうか。さらに市の魅力を発信するために、SNSを使ってオリジナルのハッシュタグ(#)をつけたり、ホームページを充実させ、印象に残るようなPR動画や移住者の体験談を掲載し、発信することを提案する。



園部中学校 3年
山田 陽輝

南丹市の強みは、豊かな自然や伝統文化、食文化である。学校での地域道德の活動を通して、地域の人とのふれあいや、地域全体で子育てを応援する雰囲気があると感じている。子育て世代を移住者のターゲットとして考えた場合、南丹市には子育て支援や移住支援の取組があるので、ホームページだけでなく、SNSを活用して情報や南丹市の魅力を発信する必要がある。



美山中学校 3年
安野 藍里



南丹市消防団出初式

1月8日、アスエルそのべで、南丹市消防団員ら約350人が参加し、令和5年南丹市消防団出初式を行いました。

式では、西村市長が「昨年の火災につきましましては、南丹市内では約20件発生しましたが、いずれも大きな被害がなかったことは、消防団の皆様の日頃の防火啓発活動、迅速な消火活動の賜物であると存じます。そのような中、南海トラフ巨大地震をはじめとする震災、原子力災害対策など、消防団に対する期待はますます高まっています。今後その職務の重要性を深く認識していただき、野中消防団長を先頭にご活躍いただきますようお願い申し上げます。」と式辞を述べました。

そのほか、団員の多年にわたる勤続や功績をたたえ、京都府消防協会会長表彰、南丹市長表彰などの伝達授与式が行われました。式典後は、一年の防火防災を願って、西村市長と野中団長らが見守る中、ポンプ車、積載車などによる車両パレードが行われ、団員同士の連携・団結を強めました。

被表彰者は次のとおりです。

(敬称略)

■京都府消防協会会長表彰

功績章

【八木】分団長▽川勝 広行

【美山】分団長▽加藤 孝俊

勲功章

【園部】分団長▽山岸 三洋・中嶋 了士

【八木】副団長▽井尻 喜隆

精進章

【園部】分団長▽西田 昭一／副分団長▽大西 一生

【八木】分団長▽村上 裕紀・藤井 雅章

【日吉】部長▽松原 明広・坂本 勇

【美山】分団長▽細川 猛司／副分団長▽長野 久好

精勤章

【園部】副分団長▽西田 健・山田 康晴・西村 一孔・角 豪

宏・野々口 元喜

【八木】副分団長▽今西 芳充／部長▽川勝 満・平尾 隆裕・麻田 昭・廣瀬 真也

【日吉】副分団長▽湯浅 正人／部長▽吉田 航・小林 剛・草川 智・竹野 義明

【美山】副分団長▽下野 佳孝／部長▽澤田 享征・桂 隆浩・鈴木 繁人・坂井 祥吾

■南丹市長表彰

市長章

【園部】副分団長▽上原 徹也／部長▽竹藤 修司・松下 孝／班長▽草川 夏彦・今井 栄一／団員▽小川 善丈・平野 幸

宏・中尾 克則・奥村 雅史

【八木】部長▽川勝 満・青山 博章／班長▽平井 陽介・廣瀬 健太郎・小林 一洋／団員▽寺田 利裕

【日吉】部長▽黒 伸哉・久保田 瑞人・西村 隆一／団員▽岩城 嘉也・吉田 稔

【美山】副分団長▽大牧 正典／班長▽松村 和成・木村 真人・坂井 裕也・藤原 義宗

■南丹市消防団長表彰

団長章

【女性分団】班長▽前田 敦子／団員▽平 知子

【園部】副分団長▽齊藤 武志／部長▽木村 健・平田 辰也・畑中 美喜雄／班長▽樋口 佑

紀・竹中 利行・高屋 裕一・谷口 博之／団員▽八木 尚也・森 博史・片山 利充・小畠 直人

【八木】部長▽益田 廉久・森 規雄・齊藤 広之・西川 優貴

／班長▽宅間 敬悟・廣瀬 弘幸・明田 崇／団員▽中川 善

之・井上 大暉・蘭田 達也・福嶋 良志也・吉田 将史

員▽鈴木 直彦・細尾 勝・菅生 正臣

【日吉】班長▽松村 竜矢／団員

勤続章(10年)

▽谷口 恭平・森 峻吾・村上 潤

【女性分団】班長▽橋本 千代／団員▽村上 貴子・村上 由記

【美山】班長▽菊地 大輔／団員

【園部】部長▽松宮 穰／班長▽人見 裕也・草川 夏彦・梅木 俊介・小林 崇宏・堀林 明真

▽勝山 大督・金谷 史男・菅井 正人・小島 寛貴・樋口 健哉・奥本 貴也・吉見 一馬

／団員▽小泉 範幸・前島 龍太・米田 正雄・小寺 樹・潮田 貴徳・東村 大毅・奥村 健治

【園部】部長▽片山 将宏・面村 恭一／班長▽岡本 和夫・西山 嘉一／団員▽高橋 圭・飯田 学・井上 浩・武部 昌英・竹中 隆志・大下 健・中川 和久・高杉 義文・谷 正和・西田 享史・中井 栄治・進士 政幸・奥村 大生・奥村 清央

【八木】副分団長▽若井 邦明／班長▽西村 嘉晃／団員▽入江 悟・谷口 雅紀・市原 寿郎・今西 洋介・森 和也・藤田 武久・松本 貴宏

【美山】分団長▽大下 裕宣／副分団長▽靛淵 敦司／部長▽桂 隆浩・東 昌司・西 敦嗣／班長▽東 晋也・戸本 敬之／団員▽鈴木 直彦・細尾 勝・菅生 正臣

【八木】副分団長▽今西 芳充／部長▽益田 廉久／班長▽廣瀬 健太郎・廣瀬 容大／団員▽國府 純・治田 知幸・田中 和弘・大狩 瑛寛・福嶋 良志也・寺田 憲司・栗山 拓也・麻田 和政・小森 弘臣・中西 洋平

【日吉】副分団長▽近藤 慎一郎

【日吉】団員▽塩見 猛・宇野 竜也・竹内 一治・勝田 亮太

【美山】部長▽坂田 佑弥／班長

▽武田 勝利・菊地 大輔／団員▽大上 明久利・澁谷 明拓・菅井 正人・小島 寛貴・西野 伸哉・川勝 一平・奥本 貴也・黄楊川 淳

【園部】分団長▽矢野 善大

【八木】副分団長▽波部 吉宏

【日吉】副分団長▽近藤 慎一郎

【美山】副分団長▽登立 修史

【園部】副分団長▽林 哲也／部長▽犬石 聡也・橋本 貴弘・中井 貴信

【八木】分団長▽明田 和士／副分団長▽岸上 大輔・住田 庄平・森 嘉伸

【日吉】部長▽永口 貴博・吉田 正・小栗 玉樹・塩内 友行

【美山】副分団長▽大牧 正典・中島 友弘／部長▽山崎 大祐・山名 友紀

【園部】副分団長▽高屋 智之／部長▽福地 貴彦・西村 恭一／団員▽谷口 直也・野々口 和幸

【八木】副分団長▽八田 宜典／部長▽松本 洋史・森口 淳・明田 裕輔／班長▽徳見 崇

【日吉】班長▽松尾 勇也・久野 敦志・岩城 光輝／団員▽山形 文彦・谷内 和也

【美山】部長▽中野 修・大秦 学・西 敦嗣／班長▽武内 津二／団員▽平井 智彦

【美山】副分団長▽福本 修三／団員▽畠中 登・高野 剛・左近 幸広・竹田 茂

【丹波地方消防連絡協議会会長表彰功労表彰】

【園部】副分団長▽谷口 博之

【八木】副分団長▽三輪 隆之／部長▽松本 光彦／班長▽麻田 潤／団員▽川勝 博志

【美山】副分団長▽福本 修三／分団長▽大下 裕宣

【園部】団員▽谷口 博之

【八木】副分団長▽坂本 光彦

【美山】副分団長▽福本 修三

【日吉】副分団長▽近藤 慎一郎

【園部】副分団長▽湯浅 啓史

【美山】副分団長▽福本 修三

【八木】分団長▽谷 学

【日吉】副分団長▽近藤 慎一郎

【園部】副分団長▽下間 康広

【美山】副分団長▽福本 修三

【八木】分団長▽谷 学

【日吉】副分団長▽近藤 慎一郎

【美山】副分団長▽福本 修三

【園部】副分団長▽下間 康広

【八木】分団長▽谷 学

【美山】副分団長▽福本 修三

【園部】副分団長▽下間 康広

【八木】分団長▽谷 学

【美山】副分団長▽福本 修三

【日吉】副分団長▽近藤 慎一郎

【園部】副分団長▽下間 康広

【美山】副分団長▽福本 修三

【八木】分団長▽谷 学

【日吉】副分団長▽近藤 慎一郎

【園部】副分団長▽下間 康広

【美山】副分団長▽福本 修三

【八木】分団長▽谷 学

【日吉】副分団長▽近藤 慎一郎

【園部】副分団長▽下間 康広



▲パレードの様子

1月8日、アスエルそのべで、南丹市二十歳のつどいを開催しました。成人の年齢が18歳に引き下げられたことに伴い、今年から名称が変更されました。

西村市長は「人とのコミュニケーションを大切に、立派な社会人としてこれから歩んでほしい」とお祝いの言葉を述べました。

会場には、晴れ姿に身を包んだ若者たちが集い、式後、久々に会った友人らと楽しそうに会話する様子も見受けられました。



▲式後、友人らと記念撮影をする様子

「社会の一員として明るい未来へ」

(1/8 南丹市二十歳のつどい)

「地域に憩いの場を提供」



▲受賞報告をする会の役員ら

(2/1 国土交通大臣表彰「手づくり郷土賞」)

園部町の天引区の活性化と未来を考える会が国土交通大臣表彰「手づくり郷土賞」を受賞されました。この賞は地域の魅力や個性を創出している優れた地域活動などが評価されるもので、天引区の活性化と未来を考える会は「天引むくむく市」と命名した野菜市を開き、幅広い世代が集える場所を創出されたことが評価されました。

2月1日には、西村市長に対し受賞報告を行っていただきました。



▲ピアノを弾くカズコ・ザイラーさん

1月22日、アスエルそのべで「2023新春カズコ・ザイラー ピアノコンサート」を開催し、300人を超える人に会場いただきました。

コンサートでは、シューベルト：ピアノソナタやショパン：夜想曲などのクラシックピアノ曲を演奏されました。来場者はカズコ・ザイラーさんが奏でるピアノの心地よい音色に耳を澄ませ、クラシックの世界に酔いしれた様子でした。

カズコ・ザイラーさんは、令和4年4月に南丹市文化観光大使に就任いただいております。これまで、平成元年に京都府、胡麻の里にかやぶき音楽堂「国の登録文化財」を建立されて以降、かやぶきコンサートなどを開催されています。

なお、かやぶきコンサートの予定についてはカズコ・ザイラーホームページでご確認ください。

「ピアノの美しい音色が響き渡る」

(1/22 カズコ・ザイラーピアノコンサート)



▲演奏される「ボンヌ・ポータ」の皆さん

「世代超えクリスマス音楽会で交流」

12/17 クリスマス交流音楽会

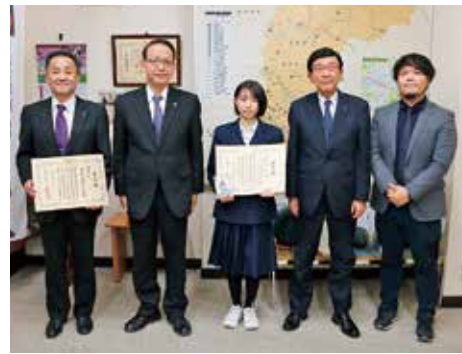
12月17日、八木市民センター文化ホールで、コロナ禍でふさぎ込みがちな生活の中、楽しいひと時を過ごしてもらおうと交流音楽会が開催されました。

八木町「南地区大堰塾」が初めて企画、京都中部総合医療センター看護専門学校生のハンドベルや「クレージーモンキーズ」のサクソ演奏、弦楽器グループ「ボンヌ・ポータ」のアンサンブル演奏が行なわれ、町内の高齢者を中心に約80人が参加され、温かい雰囲気につつまれました。

園部中学校3年生の川勝梨世^{かわかつりせ}さんが北朝鮮人権侵害問題啓発週間作文コンクール2022表彰の優秀賞を受賞され、12月21日に市役所で表彰状の伝達を行いました。

川勝さんは「自分事として捉えて」と題し、拉致問題に対する自身の心情や決意を書き上げました。

なお、このコンクールは中学生部門、高校生部門合わせて2,635作品の応募がありました。



▲賞状を手記念撮影をする川勝さん(中央)

「人権問題を自分事として考える」

12/21 作文コンクール2022表彰伝達

「子どもの見守り活動を実施」

2/13 地域学校協働活動 文部科学大臣表彰報告



▲文部科学大臣表彰報告

令和4年度コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に係る文部科学大臣表彰を、園部小学校学校運営協議会が受賞されました。

学校運営協議会では、地域の方に協働活動へ幅広く関わっていただきたいとの思いがあり、地域学校協働活動推進員がその思いを受け、誰もが参加しやすい活動を広げていこうと広報を行った結果、地域と学校が一体となった登下校を含む子どもたちの見守り活動が実施できています。

「文部科学大臣への陳情」

11/15 文部科学大臣への陳情

11月15日、西村市長が永岡桂子文部科学大臣と面会しました。現在、南丹市立小中学校において積極的に取り組みを進めているGIGAスクール構想・児童生徒一人一台タブレットを活用した学習の状況等を、文部科学大臣に説明したうえで、今後もこのような学習が継続的に進められるよう、財政的な支援を求めました。また、文化財保護に関する補助金事業の継続と南丹市教育施設の長寿命化計画に伴う施設改修等に対しても支援していただければ幸いです。



▲西村市長(左)と永岡大臣(右)

令和4年度南丹市表彰式

1月26日、南丹市国際交流会館で、それぞれの分野で多年にわたりご活躍された方、また、市政の発展や公共の福祉の推進などに、広く社会に貢献された方をたたえ、令和4年度南丹市表彰式を開催しました。

今年度は、自治功労者3名、功績者11名が受賞され、1団体に感謝状が贈呈されました。



自治功労者(3人)

松尾 武治さん

南丹市議会議員として16年間在職され、市民と行政とのパイプ役として地方自治の発展に貢献

廣瀬 孝人さん

南丹市議会議員として12年間在職され、市民と行政とのパイプ役として地方自治の発展に貢献

田中 貞雄さん

南丹市選挙管理委員会委員として16年、また、在職中の4年間は選挙管理委員会委員長として、公平公正な選挙の執行に貢献

功績者(11人)

澤田 利通さん

美山山村留学運営委員として、多年にわたり市町村自治振興の発展に貢献

澤田 千代野さん

美山山村留学センター管理人として、多年にわたり市町村自治振興の発展に貢献

新谷 秀一さん

学校法人二本松学院理事長として経営に従事し、多年にわたり教育の振興に貢献

谷口 和彦さん

学校法人明治東洋医学院理事長として経営に従事し、多年にわたり教育の振興に貢献

上西 晴美さん

社会福祉法人あけぼの学園の職員として、多年にわたり社会福祉の向上に貢献

上島 由里子さん

社会福祉法人あけぼの学園の職員として、多年にわたり社会福祉の向上に貢献

辰巳 慎一さん

社会福祉法人あけぼの学園の職員として、多年にわたり社会福祉の向上に貢献

中井 弘之さん

社会福祉法人あけぼの学園の職員として、多年にわたり社会福祉の向上に貢献

藤田 淳子さん

社会福祉法人あけぼの学園の職員として、多年にわたり社会福祉の向上に貢献

木戸 芳典さん

社会福祉法人美山育成苑の職員として、多年にわたり社会福祉の向上に貢献

添田 広美さん

社会福祉法人京都太陽の園の職員として、多年にわたり社会福祉の向上に貢献

感謝状(1団体)

公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団

多年にわたり本市の子育て・文化・スポーツ・防災などの取り組みに対し格段のご理解ご支援をいただき、市政推進に多大に貢献



インスタグラム

Instagram に写真を載せませんか？



「#なんたんぐらむ」とタグ付けて投稿してください



登録はコチラ



※タグ付けされた写真を広報誌などで紹介させていただく場合があります。



地域おこし協力隊レポート

こんにちは。南丹市地域おこし協力隊8期生の米澤です。大寒波でずいぶん冷え込みましたね。南丹市に移住して初めての冬を迎え、出身地の九州では見ることがなかった雪景色に心が踊ります。さて、今回は私の活動を紹介します。

私は大分県の豊かな自然のなかで生まれ育ちました。大学ではソーシャルビジネスを学ぶために国際経営学部部に所属し、自ら企画した海外でのフィールドワークを通じて、幸せや豊かさについて改めて考える機会がありました。

そのなかで持続可能な社会の構築には、地域循環や地産地消をはじめとする農業の底上げが必要だと感じ、帰国後二年間休学して、知り合いの農家さんのサポートを受けながらマルシェの企画を行いました。ほかにも農家さんと飲食店さんをつなげるサービスの提案、自らの飲食スキルを生かし、より野菜と農業に親しんでもらう間借りカフェを営業していました。

南丹市地域おこし協力隊に就任した後は、まず南丹市の農業の現状を知るために農家さんへの聞き

込みや直売所などに足を運び、調査を行いました。また、料理人に南丹市の野菜を紹介し、出店などを通してお客さんに南丹市の魅力を知っていただきました。そのほか、SNSでも南丹市の食材を使ったレシピを紹介しており、今後も続けていく予定です。

就任して間もありませんが、たくさんの方のご支援もあり、少しずつ私のミッションである「地域農業の活性化」と「食と農を通じた魅力発信」の達成に向けて動き出しています。今後とも頑張っていきたいです。ぜひ応援よろしくお願いたします。



NANTANDOORS

問い合わせ先 米澤隊員

メール chikokoshio7@cloud.com



なんたんの景観ちよつと情報



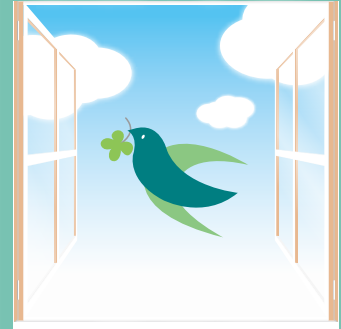
【水と景観】

毎年3月22日は「世界水の日」と国連が定めています。水が大切であること、きれいで安全な水を使えるようにすることの重要性について世界中の人々と一緒に考える日となっています。

南丹市は、河川やダム、池など豊かな水と自然に囲まれた地域であり、冬の澄んだ青空を背景にした美しい景観が広がっています。

今回は南丹市内の雄大な自然に囲まれた水のある風景を紹介します。

景観の小窓



第48景



(園部町：半田原池)



(八木町：文覚池)



(日吉町：日吉ダム)



(美山町：由良川)

問い合わせ先
地域振興課
Tel(0771)68-0019
美山支所総務課
Tel(0771)68-0040



※景観条例(計画)の詳細は市HPに掲載しています。

市民の皆さんをはじめ、南丹市に関わる多くの方々と一緒に、優れた景観を守り育てていきたいと考えていますので、引き続きご理解とご協力をお願いします。

景観計画区域：美山町地域

届出対象行為は、工事着工の30日前までに市へ届け出ください

みんなで描こう

協働のキャンバス 68

宝くじの力で地域の活性化を目指す！

本号では、今年度、宝くじの社会貢献広報事業として実施されているコミュニティ助成事業を活用した事例を紹介いたします。

園部町横田区は、公民館のエアコンの整備をされ、地域の活性化をより進められます。



▲園部町横田区が整備された備品

園部町大西区は、公民館のエアコンのほかに折りたたみテーブルや椅子を整備され、地域の方々が集まりやすい環境を整備されました。



▲園部町大西区が整備された備品

園部町小山東町区は、公民館に冷蔵庫やテレビのほか、掲示板を設置され、区内の住民へ情報を速やかに伝達できるよう整備されました。



▲園部町小山東町区が整備された備品

八木町観音寺区は、公民館で使用する机のほか、空気清浄機やテレビ等を整備され、地域のコミュニティ活動を推進されます。



▲八木町観音寺区が整備された備品で会議を開催

「地域活性化活動の紹介」南丹市編

八木町西田自治会は、公民館のテレビや空気清浄機のほか、パソコンや複合機などを購入され、自治会機能を円滑に進められるよう整備されました。



▲八木町西田自治会が整備された備品

八木町北広瀬自治会は、公民館やコミュニティ広場に地域住民が集えるよう、ベンチを整備されました。



▲八木町北広瀬自治会が整備された備品

美山町大野区は、エアコンやプリンターのほかに、簡易テントを購入され、地域イベントの活性化に向けた取り組みを進められます。



▲美山町大野区が整備された備品

今年度、整備された7つの地域は、備品を活用して、今後コミュニティ活動の推進や地域の活性化に向けた取り組みを進めていきたいと思います。

問い合わせ先

地域振興課

TEL(0771)68-0019

南丹市観光協会連絡会だより

まいまい京都ガイドツアーから学ぶ研修会開催

2月10日に、南丹市観光協会連絡会主催でまいまい京都ガイドツアーから学ぶ研修会が開催されました。

「まいまい京都」とは、京都に住む600人を超えるガイドが、自らの地域を案内するミニツアーです。専属のガイドはおられず、本職を別を持っておられる方ばかりで構成されており、それぞれの知識や経験をもとに案内する内容を考えるスタイルが人気を集めています。

昨年、まいまい京都を主催する



以倉代表を招いて、南丹市内で研修を行いました。南丹市への観光客を案内する参考にしていただくため、南丹市内観光協会連絡会の事務局を含めた19名に、実際にガイドツアーへ参加していただきました。

ガイドの三浦豊氏と京阪出町柳駅で顔合わせをした後、賀茂川と高野川の合流点へと移動、加茂川の河川敷を歩き、糺の森を通り下鴨神社へ。

三浦氏の本業は庭師で、庭の魅力に惹かれ全国を巡る中で、生まれ育った下鴨の魅力を再発見され、庭師らしい着眼点で、世界でも他に類を見ない原生的な森を中心に、人々の営みや、地名の由来などを紹介。

説明の随所に南丹市での例や、南丹市との比較が加えられていたため、説明内容が理解しやすかったです。

終始雨が降る、寒い日でしたが、参加者からは熱心に質問が出るなど、熱気を帯びた研修会になりました。

第5回南丹市フォトコンテスト力作出揃う。全国から208点

「この瞬間を伝えたい」をテーマに昨年9月1日から1月10日まで募集を行いました。第5回南丹市フォトコンテストの審査会が1月26日、南丹市園部文化会館「アスエルそのべ」で行われました。中田昭審査員はじめ、西村南丹市長、寺田南丹市商工会長、各観光協会の代表者らが数々の力作を前に、真剣な表情で審査を行いました。

今回の応募作品は全部で208点。京都、滋賀、大阪等近畿圏内をはじめ東京や栃木など関東からの応募もありました。

人のその瞬間の笑顔を映し出したものや空と雲の光や色の変化、川の流れ、つらら、雲海などの自然の営みを見事に表現した作品など、この日、各入賞作品13点が選ばれました。



南丹市

インスタグラム

フォトコンテスト

2022年11月・12月 優秀賞発表

テーマ「私が好きなこの一瞬」



作品名：「シナスタジアヒルズ」
撮影場所：(園部町) るり溪温泉
撮影者：imuk_93



作品名：「紅葉のパッチワーク」
撮影場所：(八木町) 西光寺
撮影者：yossan555



作品名：「紅葉・朝日に照らされて」
撮影場所：(園部町) 龍穩寺
撮影者：tiikiitphoto

南丹市での素敵な一コマをたくさん投稿いただき、ありがとうございました。

食は、

ひびく、ひびく、ひびく

まちづくり



—58—

「だし」のおいしさでうす味習慣を！

〜福島鯉株式会社京都南丹工場 福島工場長より食育発信〜

南丹市民の食塩摂取量*は男性10・5グラム、女性7・5グラムでとり過ぎの傾向がみられます。(塩分のとり過ぎは高血圧を引き起こし、脳卒中や心臓病などのリスクを高めます。)目標値の男性7・5グラム、女性6・5グラムを目指すためには、子どもの頃からうす味習慣を身につけ、健康な体づくりをおこなうことが大切です。

*令和3年度食事診断結果

南丹市八木町にあります福島鯉株式会社京都南丹工場の福島工場長に「だし」について話をうかがいました。

味「こだわり」、素材「こだわる」

工場では、かつお節以外にさば節、うるめ節など現在3、000種類を超えるたくさんのけずり節が創られており、「コクを出したい」「香りをつけたい」など、対象者に合わせたオリジナルのけずり節を創り上げておられます。

気軽に「だし」をとろう

「だし」をとることに対し、面倒と思う人もあるかと思いますが。福島工場長は、「昆布、鰹、煮干など色々な「だし」があるが、あまり難しく考えずに、水にけずり節を入れて煮るだけで出来る簡単なものと、気軽に考えて欲しい」と話されています。「沸騰しすぎたら「水や鰹の量」などあまり気にせず気軽に取り組むことが一番です。とった「だし」で、ぜひ「おいしいうす味」の料理に挑戦してみましよう。



福島鯉株式会社南丹工場 福島工場長

子ども達の励みになるように、レシピを広げていきたいですね！

「だし」を活かしたレシピで健幸に

〜南丹市健幸・食育レシピコンテスト〜

第3回目となる健幸・食育レシピコンテストでは、従来の応募テーマ野菜や米を使ったレシピに加え、新たに「かつおだし」を活かした和食健康レシピの2本立てで募集をおこないました。全体で393点の応募をいただき、入賞された4点の和食健康レシピを紹介します。どの作品も健康面を意識した素晴らしい作品ばかりでした。

南丹市健幸・食育レシピコンテスト入賞作品紹介
かつおだしを使った和食健幸レシピ



南丹市商工会長賞
「カルシウムたっぷりふわとろオムライス」
南丹市立八木中学校 1年
國府 みちるさん



健幸都市応援事業所賞
「夏野菜Nantanみそ汁」
南丹市立八木中学校 1年
井尻 千裕さん



学校給食賞
「和風マーボー」
南丹市立八木中学校 1年
中西 桃子さん



入選
「ミネ麩トロネ」
南丹市立八木東小学校 5年
谷村 咲空さん

問い合わせ先

南丹市食育推進委員会
(事務局・保健医療課)
TEL(0771)68-0016

審査員をお世話になった福島工場長は「だしの視点を変えて、いろいろな料理にだしを使っていることが嬉しい」と話されています。今後も、生活習慣病予防のため、日頃からうす味習慣につながる取り組みを目指していきます。

※今回は、「野菜や米を使ったレシピ」を紹介します。

いきいき南丹

-114-

お元気ですか？
栄養士です。



一日のスタートは朝ごはんから

～早寝・早起きをしておいしい朝ごはんを食べよう～

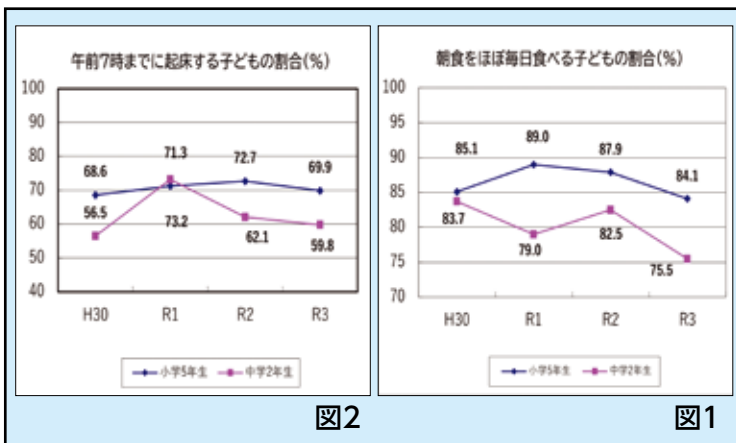
一日を元気に活動するためには、朝食をとることが大切です。早寝早起きをし、気持ちよく目覚め、おいしく朝食がとれる生活を目指しましょう。



アンケートからみえる朝食の現状

南丹市では、朝食の大切さについて、小中学校と連携しながら啓発をおこなっています。

小学5年生と中学2年生を対象とした健康アンケートの結果では、「朝食をほぼ毎日食べる」子どもの割合が平成30年度からの4年間で小学生は平均87%、中学生は80%という結果でした。約2割の小中学生に朝食の欠食がみられる状況です。(図1)



また、「午前7時までに起床する」と回答した小学生は平均70%、中学生は63%という結果でした。(図2)

就寝時間と朝ごはんの関係

「朝食をほぼ毎日食べる」割合は、令和3年度大きな低下がみられました。また、「午前7時までに起床する」割合の低下もみられたことから、就寝時間が遅くなると、起床時間に影響し、朝食を食べないことにも繋がっているのではないかと考えられます。令和元年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、外出自粛による生活リズムの乱れも、アンケート結果と関係があると考えられます。

朝食が食べられない理由

朝ごはんの大切さは分かっているても、食べる時間がない人もあるのではないのでしょうか。令和4年度、農林水産省が実施した食育に関する意識調査では、朝食を毎日食べていない人に「どうすれば朝食を食べるようになるか」調査したところ「早く起きられたら」と回答した人が43%ありました。「朝食をとる時間がない」ことが、欠食の大きな要因となっています。

まずは生活習慣を見直そう

朝食をとるためには早寝・早起きのリズムを作ることが大切です。寝る時間や、起きる時間を振り返

り、規則正しいリズムをつけましょう。

自分に合った朝食を



◆時間が無い人へ
ヨーグルトとバナナ、シリアルと牛乳など手軽な物を食べ、徐々に習慣にしていきましょう。

◆毎日食べている人へ
バランスに心掛け、炭水化物、たんぱく質、野菜などいろいろな種類の食品をとりましょう。



おすすめ
「あさごはん」レシピ

保健医療課では「あさごはんレシピ」を作成しています。活用いただき、健康な一日のスタートにしましょう。

問い合わせ先 保健医療課

Tel (0771) 68-0016

「毎日が人権の日」

本 校では「毎日が人権の日」を合言葉に子ども達の人権意識が高まるよう、日々の授業や学校生活を通じて一人ひとりのよさを生かし、支え合い高まり合う教育活動を推進しています。

— 日の終わりにには、「かがやきタイム」という一日を振り返る時間があり「困っている時に『どうしたん？大丈夫？』と声をかけてくれて嬉しかった。」など、友達にしたらって嬉しかったことや自分や友達のがんばりを発表しています。自分や友達の「かがやき」をたくさん見つけられる園部っ子です。

委 員会活動では、五・六年生を中心に様々な取り組みをしています。例えば、放送委員会では、人権の大切さをみんなで考えてもらうために、「人権標語を募集し、給食時に放送しています。『あいさつで笑顔あふれる 園部っ子』『ごめんねと素直に言えば 仲直り』など、心温まるものがたくさん紹介されており、温かい気持ちで給食を食べています。

ま た、全学年で親子道徳を行ない、保護者と子どもが一緒になって道徳的価値について考えました。一例を紹介しますと、三年生

では「公平な態度」について親子で考え、人と接していくために大切なことを話し合いました。子ども達からは、「相手はどう受け止めるかわからないし難しいけれど、常に思いやりを忘れずに相手や周りのことを考えていきたい。」と振り返り、保護者からは、「思いやりやそれぞれの考えに寄り添う心を育てるとても良い機会になった。公平に接することは大切だと学びながらも、はたしてそれを実践できているのかと改めて自分を見つめ直す機会になった。」といった感想がありました。

子 ども達は、たくさんの人達と関わり合いながら生活しています。これからも互いの個性や価値観の違いを尊重し、思いやりの心をもって認め合いながら生活していくよう、学校・地域・家庭が一体となって教育活動を推進していきます。

南丹市立園部小学校
人権教育主任 岩崎 友亮



▲3年生 親子道徳の様子

ふ・れ・あ・い



—第59回—

「今日は何の日」

何の記念日

一年を通して、さまざまな記念日があります。例えば、日本では3月3日「ひな祭り」、7月7日「七夕」など伝統的な行事として定着している日や、業界や企業が制定した日など沢山あります。その中で3月の記念日の中から人権に関わりのある記念日をご紹介します。

☆3月1日

「エイズ差別ゼロの日」

2013年、オーストラリアで開かれた世界エイズデーの式典で「差別ゼロの日」と定められました。世界各国の赤十字は、予防・治療を行うとともに差別・偏見をなくすための啓発活動を続けています。エイズをきっかけに性の多様性への理解が広がれば、一人

一人が自分らしく誇りを持って生きていくことを認め合える、寛容な社会を目指すことにつながっていきます。

☆3月8日「国際女性デー」

「国際女性デー」は、女性の権利と政治的、経済的分野への参加を盛り立てていくために1975年に制定されました。「女性の社会参加と地位向上を訴える日」であるとともに「女性の素晴らしい活躍と勇氣ある行動を称える日」であるとしています。

☆3月18日

「点字ブロックの日」

点字ブロックは、視覚障がい者の安全歩行のために、1967年3月18日に、世界で初めて岡山盲学校付近の交差点に敷設されました。この日を記念して2010年に「点字ブロックの日」が制定されました。「失明してしまう友人を街中で歩けるようにしたい」という想いから考案され、ヒントになったのは、「目の不自由な人は、苔と土の間の境が靴を通じて分かる」という友人の一言からだったそうです。

(人権政策課)

南丹市立図書館

中央図書館 TEL(0771)68-0080
八木図書室・日吉図書室・美山図書室
(休館日:毎週月曜日・祝日)

<https://www.lics-saas.nexs-service.jp/nantan/>

No.99

図書館へようこそ!



イメージキャラクター“なびっと”

図書館の電話番号を登録してください

連絡をスムーズにするためのお願いです。

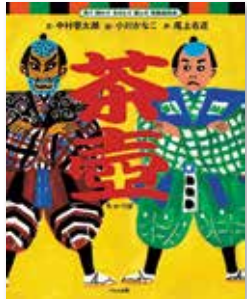
予約されていた本の順番が回ってきた時などに、図書館から連絡することがあります。また、来館の際に忘れ物があった時や、返却資料にメモがはさんであったりする時にも連絡することがあります。その際、電話がなかなかつながらず、連絡が遅くなってしまうことがあります。

そこで、図書館からお願いです。ご自宅の電話や携帯電話に、図書館の電話番号を登録していただけないでしょうか。南丹市の図書館・図書室の電話番号は、図書館利用カードの裏に記載しています。スムーズに連絡できるようにするために協力をお願いします。

新刊紹介

『茶壺』

文…中村喜太郎/絵…小川かなこ
声…尾上 右近/発行…くもん出版



歌舞伎の演目を子ども向けに書き直した絵本です。QRコードを読み取ればアプリから歌舞伎俳優の読み聞かせも聞くことができ、文と絵、声の面白さが楽しめます。

『家康の海』

著者…植松 三十里
発行…PHP研究所



関ヶ原の決戦を制した家康が目指したのは、諸外国との対等な外交でした。秀吉によって途絶えた朝鮮との国交回復、さまざまな思惑をもって来日する西欧諸国との交渉…。知られざる家康の後半生を描いた、感動の歴史ロマンです。

暮らしと

ホッと

—第84回—
消費生活情報

「老人ホームの入居権を譲って」という電話は?



【事例】「市内に介護施設ができ、市内在住者のあなたには入居権がある」と電話があった。「必要ない」と断ると「他市に住む女性に権利を譲ってあげて」と言われたので承諾した。後日、弁護士を名乗る人から「あなたは入居するつもりがないのに申し込んだので犯罪だ。違反金600万円支払わないと逮捕され拘置所に入ることになる」と言われた。お金を用意したがだまされているのではないかと。(80歳代女性)

(独)国民生活センター「見守り新鮮情報」から

寄せられています。

★ひとこと助言★

●このような電話は詐欺です。相手にせず、すぐに電話を切ってください。

●話を聞いてしまうと、さまざまな口実で金銭を要求され、払ってしまうと取り戻すことは困難です。絶対にお金を払わないでください。

●少しでも疑問や不安を感じた場合には、すぐに消費生活窓口や警察等にご相談ください。

●南丹市内でも1月になって、相談がありました。特にご注意ください。

一人で悩まずにご相談ください

●商品やサービス購入でお困りごと、不審に思うことがあります。したら迷わずにご相談ください。

お気軽にご相談ください

消費者ホットライン
TEL188(いやや!)

南丹市消費生活相談窓口
TEL(0771)68-0100

月曜・火曜・金曜 祝日は休み
午前9時～午後4時

京丹波町消費生活相談窓口
TEL(0771)82-3803

水曜・木曜(祝日は休み)
午前9時30分～午後4時

(商工課)

お知らせなんたんに広告を掲載してみませんか？

地域情報や市政情報など、暮らしに身近な情報の発信源「**お知らせなんたん**」に広告掲載を希望する個人・事業主を募集しています。お店や会社のPRなどにぜひご活用ください。

●業種別の主な掲載資産(例示)


業種	主な掲載資産の例示
共 通	防災用設備、太陽光発電設備、看板、ネオンサイン、屋外広告、駐車場設備、防犯設備、外灯、テナント内部造作、緑化施設、外構工事(フェンス・柵、キャビネット、応接セット)、コピー機、パソコン、ルームエアコン、テレビ、レジスター、机・椅子、プリンター、LAN設備等
飲 食 業	カウンタ、室内照明器具、カフター機器、自動販売機、ステレオ、放送設備、冷蔵庫、厨房設備、型紙機、包まき等
理 容 ・ 美 容 業	鏡台・美容椅子、洗面設備、剃毛器器具、理容・美容機器、給湯器、サインボード等
ク リ ー ニ ン グ 業	洗濯機、脱水機、乾燥機、プレス、ミシン、ボイラー、スリッパ、ビニール衣装設備等
ホ テ ル ・ 旅 館 業	客室風呂(お風呂、ベッド等)、カラオケ機器、製氷機、厨房設備、自動販売機、電話交換設備、洗濯設備等
医 療 ・ 薬 局 業	診療機器(ベッド、エックス線装置、調剤機器、心電計、血液検査器、手術台、歯科診療用ユニット、光学検査機器、保育器、顕微鏡等)、冷蔵庫、陳列ケース、薬局戸棚、厨房設備、待合室用椅子等
小 売 業	ショーケース、陳列ケース、冷蔵ストッカー、日よけ、簡仕切り(パーテーション)、冷蔵庫、照明設備、電子秤、自動販売機等
ガ ソ リ ン 給 油 場	地下タンク、計量機、リフト、充電機、コンプレッサー、照明設備、洗車機、給油キャビン、給油工具、自動販売機、防塵、消火器、機内照明等
自 動 車 修 理 業	昇降機、プレス、リフト、チェーンブロック、カーウォッシャー、コンプレッサー、油圧機、充電機、オイルクーラー、グライNDER、ドリル、塗装設備、各種工具等
食 料 品 卸 売 加 工 業	昇降機、プレス、ボール盤、フライス盤、シャーリング、カッター、コンプレッサー、油圧機、グライNDER、塗装設備、ベルトコンベア、各種工具等
建 設 業	土木建設機械(ブルドーザー、パワーショベル、フォークリフト等)、大型特設吊り機、発電機等
不 動 産 実 業 業	倉庫造、コンクリート造の庫、倉庫、屋外の電気・ガス・給排水設備、立休駐車場(機械式)、ターナーテーブル等
娯 楽 業	パチンコ店、パチンコ屋(台(組工事)、ゲーム機、尚器機、カラオケ機器、スクリーン設置、ボウリング場設置、ゴルフ練習場設置等
農 業	ビニールハウス、畜産に該当しない作業小屋・倉庫・物置、井戸、ポンプ、水久継、農業用機械設備(ビニールハウス用電源、充電機、もみすり機等)、農業用器具、灌漑用ポンプ(内訳特殊自動車に該当しないもの)、乗用機等

山形県地方経済振興事務局 登録簿 債権資産担当 0771-614-4503
 0771-68-0004

「お知らせなんたん」 広告募集開始

発行部数 **12,400部** (各戸配布ほか)

お知らせなんたんに広告掲載しませんか？



- 発行日**
- 発行部数**
- 広告規格**
- 掲載料**
- 申込方法**
- その他**

毎月2回(第2・4金曜日)

12,400部(市内各戸、市内コンビニ、駅などに配布。また、ホームページに掲載)

縦45mm×横175mm(モノクロのみ)

1枠1号につき11,000円(税込)

指定の様式を秘書広報課に提出

その他、詳しい内容については秘書広報課(Tel: 0771-68-0065)に問い合わせいただくか、ホームページをご確認ください。



堰水好日 えんすいこうじつ

市長コラム

昨年末の12月23日、市内11校の児童・生徒の元気な声が議場に響いた。市や市議会・市教育委員会と共催により、「市長と語ろう、私たちのまちづくり」(通称「子ども議会」)を開催することができた。

この議会は質問回答形式ではなく、子ども達のテーマに基づく意見発表の場である。それぞれの発表内容には市長がコメントを行う。例年は市議会議員の出席や保護者の傍聴も可能であったが、コロナ対策で最小限の人数での実施となった。

今回のテーマは、小学生は「南丹市の魅力・自慢について」、中学生は「移住したくなる魅力ある南丹市にするために」。子供たちは授業で使っているタブレットを見事に使いこなし、写真・動画・グラフ・表などを交えて、それぞれの考えをスクリーン一杯に映し出し、堂々と発表した。

子供たちが異口同音に語った魅力は、身近に満喫できる自然や癒される景観、近くで収穫された農産物など新鮮でおいしい食べ物があること。人と人のつながりやふれあいがあること。伝統行事やイベント、文化財資源等が豊かであること。これらは普段大人たちが当たり前のこ

ととしてことさら魅力と意識しないものも、子ども達は冷静に南丹市の魅力と評価している。そしてその魅力をいかに守り、さらに活用し移住や交流人口の増加に繋げるか考えている。地域での清掃活動のボランティアや田舎体験ツアー、お食事ツアー、農作業体験、貸農園など多くの提案があった。

さらに市外に対してホームページやSNS等のデジタル・ネットワークを活用し、地域の魅力発信を徹底して強化することの必要性を訴えている。発言すべてを紹介できないが、校内の意見集約や地域でのアンケート調査なども取り入れ、質の高い議会となった。

発表にかかわった子ども達は10年もすれば南丹市の担い手として立派な大人になる。この取り組みを通じて、子ども達がまちづくりの当事者意識を高めてくれたと思う。そしていろんな機会を通じて地域社会に目を向け、この南丹市を前向きに良くしようとする取り組みの参画者に育ってほしい。



▲庭のピワの花

南丹市長 西村 良平

編集後記

「今年の冬はあまり雪が降らないな」と嬉しく思っていました。1月には大雪が降りました。公共交通機関も止まり、「やはり雪は嫌だな」と思いましたが、積もった雪で楽しそうに遊ぶ子どもたちを見ていると案外雪も悪いものではない気がしました。

(M)

〈お詫びと訂正〉
広報なんたん12・1月号の記事に次のおり誤りがありました。お詫びして訂正いたします。
◇20ページ・中段
(誤)吉本興行
(正)吉本興業



●総人口：30,451人(-48)
(男：14,837人・女：15,614人)
(-15) (-33)
●世帯数：14,345世帯(-14)
(令和5年2月1日現在)
()内は前月比



森・里・街・ひとがきらめくふるさと **南丹市** なんたんし

広報 **なんたん**

編集・発行：南丹市役所 市長公室秘書広報課
〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47

TEL:0771-68-0065 FAX:0771-63-0653
URL:https://www.city.nantan.kyoto.jp/www/
e-mail:hisyo@city.nantan.lg.jp



本紙は環境への配慮から、FSC®森林認証紙、ベジタブルインク(植物油)を採用しています。